

広げよう防災の輪～家族とまちを守るために～

【中部技術事務所“旬な現場”災害対策用機械を見学】



中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

平成30年7月31日、台風が去り暑さが戻ってきた中、多治見市役所等から職員14名が災害対策用機械の見学・操作体験に来られ、災害対応について学ばれました。

直近の西日本豪雨などを例に“**中部技術事務所の災害対応**”をお話しています。



空を見上げて
何をしているのかというと・・・
答えは右の写真・・・

照明車
の体験操作をしているところでした。



待機支援車
車内にて装備を見学。

対策本部車
実際にカプセルを拡幅してみました。



この夏、最も活躍している
排水ポンプ車
説明を聞いてから
実際の排水状況を見ると
仕組みがよくわかります。



このように離れた位置から
遠隔操作できるので
災害現場でも操縦者の
安全を確保できるのが
無人化施工バックホウ
の利点です。



近年、被災調査での活用が目立つ**ドローン**
自治体としても大いに興味があるところです。

国土交通省では、大規模災害などにより地方自治体等が被災した際にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、災害活動の支援を行っています。

保有する災害対策用車両を現場に派遣し、応急復旧作業を行うのも支援活動の1つです。

